

第10回

藁科地域小中学校開校準備委員会を 開催しました！

令和7年6月26日
午後7時～8時40分
於 わらびこ

今年度最初の藁科地域小中学校開校準備委員会を開催しました。
中藁科・清沢地区の自治会関係者、学校やこども園の保護者の皆さんなどには委員として、大川地区の自治会関係者、保護者の皆さんにはオブザーバーとしてご参加いただき、学校や教育委員会と一緒に、藁科地域の新しい学校（令和10年4月開校予定）について話し合っています。



事務局及び学校からの説明（主なポイント）と委員からのご意見

1 開校までに検討が必要な項目とそのスケジュール

事務局説明 (ポイント)	▶ 令和6年度までの開校準備委員会では主に新校舎の基本設計に係る協議を実施。今年度第1回の開校準備委員会では、昨年度までの検討を踏まえた新校舎の基本設計概要を示すほか、学校名についても検討する。 ▶ 令和7年度は、藁科地域の子どもたちを今後地域としてどのように育てていきたいか、なども開校準備委員会で協議していく予定である。 ▶ 令和10年4月の施設一体型小中一貫校の開校に向けて、統合後の通学方法や地域との連携等についても、今後の開校準備委員会で協議していく。	【開校までに検討が必要な主な項目】			
		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
		校名、校歌、校章、校旗			小学校、藁科中統合 ★4月開校 小中一貫校
		校名検討	校歌・校章検討	校旗作成	
		小中一貫教育に係る意見聴取・報告			
		教育計画案の作成	教育計画の検討	教育計画の完成	
工事に関すること					
新校舎の実設計	新校舎の建設				
通学支援					
	具体的な方法検討	最終調整			
地域との連携					
	学校運営協議会(コミュニティ・スクール)等の検討・調整				
委員意見(抜粋)	特になし				

2 新校舎の基本設計

前回の開校準備委員会、ワークショップの振り返りをしつつ、基本設計概要及び工事期間中における工事エリア、動線について説明しました。



裏面あり

委員意見 (抜粋)	・放送室は新校舎のどこにあるのか。(事務局回答:グラウンドを見渡せる2階の図書スペースに近接して設置。) ・新校舎の冷暖房の効きはどうか。(事務局回答:建物の断熱性を高め、快適な教育環境を整備する。) ・プールの解体工事が始まったら、外部トイレはどこを利用するか。(事務局回答:既存校舎の北側に仮設トイレをプールの解体工事の前から新校舎建設完了までの期間設置予定。) ・わらしな広場の高さについて教えてほしい。(事務局回答:築山があることで子どもたち同士が双方向から見えないことがない様に顔が見えるような高さを検討する。)
--------------	--

3 藁科地域施設一体型小中一貫校化に向けた取組・協議

学校 事務局説明 (ポイント)	①藁科地域の小中一貫型教育 ▶ 藁科中グループの学校教育目標「自立する子」。やりたいことを自分で見つけ、他と関わりながら自分なりの思いを持って主体的に行動する。 ▶ 軸となる取り組み「わらしな学 ～ふるさと藁科の強みと願いを生かした特色ある学習～」地域の「ひと・こと・もの」に関わって探究的に学び、地域を愛して地域に貢献できる子の育成を目指す。 ▶ 令和10年4月の施設一体型小中一貫校の開校に向けて、小学校と中学校の交流活動も実施している。 ②コミュニティ・スクール ▶ コミュニティ・スクールとは、保護者や地域住民等が、学校と一緒に子どもたちのことや学校の教育活動、地域との協働活動などについて協議をする「学校運営協議会」を設置している学校のこと。 ▶ 学校運営協議会では、地域全体で子どもたちの学びや成長を支える「地域とともにある学校」の実現に向けて、学校運営や学校運営に必要な支援に関する協議を行う。 ▶ 現在、静岡市内41の中学校グループでコミュニティ・スクールが導入されている。藁科地域は未導入だが、開校準備委員会での議題と通じる内容であり、今後の導入に向けた準備を進めている。 ③小中一貫校としての学校名(通称名) ▶ 学校統合にあたり、小中一貫校としての名称「通称名」と、それと整合を取る形で条例上の「小学校名」と「中学校名」を決める必要がある。 ▶ 小中一貫校としての名称「通称名」が広く一般的に使用されることになる。 ▶ 学校名については、静岡市の基本的な考え方に準じて検討する必要がある。 ▶ 事務局案としては、①通称名:静岡市立藁科小中学校、②条例上の小学校名:静岡市立藁科小学校、③条例上の中学校名:静岡市立藁科中学校、で検討している。
委員意見 (抜粋)	▶ 小規模特認校制度は新たに適用されるのか。(事務局回答:教育委員会で検討している。) ▶ 開校準備委員会で義務教育学校の話があったと思うが、その後の進展はどうか。また、義務教育学校になるための条件について教えてほしい。(事務局回答:教育委員会で検討している。条件については、次回以降の開校準備委員会で義務教育学校の要件等をお示しする。) ▶ 他学区からも通える学校にしてほしい。(事務局回答:頂いた意見を含め検討する。他の地域からも通いたくなる学校については、学校や地域、行政が協力して作っていききたい。) ▶ 世界で活躍することも素晴らしいが、地元を愛し地元で活躍する子どもに育ってほしいという想いがある。 ▶ 令和10年4月の統合に向けて、学校教育目標についても改めて地域の方から意見をもらったり開校準備委員会で議論したい。 ▶ 学校名はどこまで自由がきくものなのか。清沢や水見色の方の想いもあるはず。もう少し検討を重ねるべきでは。また、例えば、子どもたちの意見を反映させることも可能か。(事務局回答:本日は事務局案をお示した。子どもたちの意見を反映させることも可能。皆様の意見や想いを伺ったので、それも含めて再度検討する。)



今後の開校準備委員会
スケジュール(予定)

次 回

第11回
9月頃開催

第12回
1月頃開催

お問い合わせ先

- 静岡市教育委員会事務局教育局教育総務課(準備委員会全体に関すること) 電話:054-354-2505
- 静岡市都市局建築部建築総務課(新校舎の基本設計に関すること) 電話:054-221-1613
- 静岡市立藁科中学校 電話:054-279-0120